

浜田小学校 夏祭り

PROFILE

成田 賢一 なりた けんいち（浜田小学校 第13代父母と教師の会 会長）

1969年青森県生まれ。昭和56年度第九回浜田小学校卒業生。
PTA活動7年目、PTA会長3年目。



① 浜田夏祭り



昭和48年に開校した青森市立浜田小学校は、青森市の中央部に位置し、少子高齢化が進む中、児童数711人（平成30年6月1日現在）という、市内では有数の大規模校です。浜田夏祭りは、開校3年目から浜田小PTAが主催し今年で43回目を迎えます。子どもたちへのアンケートでは、一番好きな行事に選ばれる程で、一学期前半の最終日、明日から夏休みという日の夕方の開催にもかかわらず、ほぼ全ての児童、たくさんのPTA各委員会

の皆さんや先生方、そして付添いの保護者の方々や入学前の子どもたち、またお世話になった先生に会いに来てくれる卒業生など1000人近い人たちが校庭で楽しい時間を過ごします。

② 浜田PTAのメインイベント

浜田小学校のPTAは、昨年度ベルマーク集得点数が青森県1位、そして全国では70位になる程、とても熱心に活動しております。その活動の中でも一番の大仕事、一番の楽しみ、メインイベントが浜田夏祭りです。

毎年5月の運動会が終わるとPTAでの夏祭り準備が本格的にスタートします。各委員会毎に子どもたちが喜びそうな販売品を考え、少しでも安く提供できるように仕入れ、値段決めをします。また子どもたちが欲しいものを確実に購入出来るよう、そして当日のお金の紛失を減らすように、事前に児童全員に注文をとり前売券を配ります。名前を書いた前売券の束を首から下げる子どもたちの姿がとても微笑ましいです。他にも看板の制作や、警察、保健所、消防署への届け出などなど、とてつもない作業量を、文化祭の準備のノリでワイワイと楽しみ

ながら、先輩お母さんのアドバイスの下、そつなくこなしていきます。

当日は、子どもたちが授業をしている朝から、学校の家庭科室をお借りして料理を作るなどの仕込みの準備を始め、子どもたちが下校するのを見はからい、校庭に出店の作業を始めます。普段PTA活動に参加出来ないお父さんたちもその日は仕事を休んでテント設営などの力仕事や、棒パンを焼くための炭起こしなどに協力して下さいます。夏祭りを成功させた次の日も朝早くから、校庭や近隣の清掃、そして売上金の集計をしてやっと長かった夏祭りが終わります。とても慌ただしく忙しい行事ですが、子どもたちのために共に頑張ったPTA仲間との絆と、やり遂げた充実感はこの素晴らしい浜田小学校のPTA活動の原動力になっていると言っても過言ではありません。



③ 浜小ねぶた 出陣!

浜田夏祭りでは、「浜小ねぶた」が運行されます。



青森が誇る「ねぶた祭り」の素晴らしさを子どもたちに伝えようと、PTAはまなす(ねぶた)委員会が、毎年希望者を募り、ねぶた囃子講習会を開いています。

太鼓、笛、鉦(かね)を本場青森ねぶたの囃子団体の方から本格的に指導を受け練習をしています。そして夏祭り当日は、ねぶた師に制作して頂いた「小型ねぶた」を運動部の子どもたちが引っ張り、後ろに続いて囃子の子もたちがねぶた囃子を奏で、練習の成果を披露します。そして、たくさんのハネト役の子どもたちが「ラッセラーラッセラー」と大きな声で掛け声をかけながら、近隣町内を練り歩きます。沿道の方々もたくさん観覧、応援して頂き、地域の方々と一緒に楽しめる浜田地区の夏の風物詩となっています。



④ 浜田の伝統をいつまでも

夏祭りで得た収益金は、「夏祭り基金」として子どもたちのために運用しています。昨年度は学校からの要望に応え、念願だったインターホンを全教室に設置し、子どもたちの学校生活の充実に貢献しています。

子どもたち、先生、保護者、地域の皆様と一緒に楽しみ、一緒に作る小学校の思い出、この素晴らしい浜田夏祭りの伝統を絶やさないように伝えていければと思っています。